

42 破天荒

平成三十年度版
創刊
第十一号

二学期終了

相高に早や九か月。二学期の終了を迎えました。毎度尋ねることですが、あなたにとって

夢は語るためのものですか？叶えるためのものですか？

保護者の目から見て、二学期の生徒の姿が、どう目に映っておられましたか？二学期は文理選択という、相高での大きな節目がありました。自分の目標に近付くために、中間調査では、モチベーションを高めて臨んでいたようです。

だが、その後、家庭学習をなしていない者が驚くほど多くおり、進路実現に向けては強い危機感を抱いています。いたずらに危機感をあおるつもりはありません。当たり前に、授業の準備(予習)をし、集中して積極的に参加(実践)をし、特に気にかかったことを再度取り組む(復習)。当たり前の積み重ねをいかに行うか。進路実現には、この基礎の徹底があつてこそです。

どうですか。その当たり前を、日々、忠実に、自分に誠実に実行できているでしょうか。実行できているように、目に映っているでしょうか。何故、実力で結果が伴わないのか？答えは簡単。定期調査が、勉強のすべてと捉えているためです。そのために、中間調査と期末調査の間、期末調査後の生徒の姿に、残念ながらエネルギーを感じるものが少ない。

好奇心 欲望 プライド

本当に叶えたい夢を口にしてるのですか？

自分の意思のないところに成果はない。そんな気持ちで、塾にその責任を委ねることは、塾に対しても失礼です。でない、塾(特に自習室と呼ばれる空間)は、ただの雑談場所であり、あなたたちが、保護者に学習している錯覚を与え、保護者をたぶらかす場所しかなくなってません。我々が保護者・塾等に望むことは、Win-Winの関係です。成績が悪い。↓塾へ行く。↓塾には居るが時間を潰す。↓学校も塾も受け身で、自分で確認する場面がない。↓成果は上がらない。この悪循環、そろそろ断ち切りませんか？

改めて、

「何が」に対して、「こうだ」から

「何を」に対して、「どうしたい」のだ

ここをはつきりさせて、自分で取り組み、深めたい部分で、学校や塾での学習活動を行うことができれば、学習効果は格段に上がってくるでしょう。

良き冬休みでありますように。

おめでとう

相生税務署管内租税教育推進協議会長賞

去る、一月一〇日に、相生市文化会館なぎさホールにて表彰式がありました。表彰対象作文の全文です。おめでとうございます！

税金本来の意味

一年四組 廣村 英

税金が徐々に引き上げられていくのを、いつも不思議に思っていました。とうとう八%が一〇%になろうとしています。二〇円のジュースも一三二円になります。たった二円でも大きいのです。重なれば大きな負担になります。税金は何のために、いつどんな時に使われているのか、明確に知らなかったため、今回税金の事について深く知るきっかけになりました。

少し前、社会科の先生が、将来君達が一番この日本を支えていかないとけないからと聞いて、今になって少しづつ分かってきました。少子高齢化が急速に進んで、私達への負担が一番大きいという意味です。主な原因は税金です。社会保障料など、現役時代の私達に、負担が集中するという事が分かりました。働いても働いても、税金で私達の生活がままならなくなってしまう。高齢者の為の税金なのに、私達の生活は、次は損ねてしまうのが本当に怖いのです。

まずはじめに、税金はいつ、どんな時に使われているのかです。主に社会保障関係費です。その他は、教育や文化などです。例えば、図書館や市の整備、病院、道路、信号機など、周りを見れば、ほとんど税金から出来ていると言っても間違いではありません。私達の生活の為に、私達で、私達のお金で造られているのです。ただ単に、高齢者や障害者の為だけの税金を支払う私達が選択する事は不可能です。

次に税金の歴史についてです。歴史的には、労働や兵役、唐では租・庸・調など、昔から税金は存在していました。昔も税金の負担は重く、義務の軽減を求めて、農民の反乱や一揆、ききんなど、税金が歴史を動かしてきた所は少しあると、私は思います。

昔も今も、少子高齢化に関係なく、税金の負担はいつもあります。でも今は、私達の若い世代にばかり負担がかかっている様に感じます。少子高齢化の対策として、ただ税金を引き上げれば良いというわけではないと思うのです。一部の世代に負担を集中させるのではなく、すべての人の、すべての生活の、すべての人の未来の為に、国民全体で広く負担するのが、一番理想です。

私は、高齢者でも働ける機会や場所を増やす事が、税金問題の一番の解決法だと思います。社会保障料の軽減と、高齢者の生きがいの為には、大きな解決策だと思います。お年寄りまでが、幸せに生きがいを持って暮らせる社会こそが、税金本来の意味なのではないでしょうか。

今後の予定(冬休み以降)

- 12月
 - 22日(金)終業式 大掃除
 - 28日(金)仕事納め
 - 1月
 - 4日(金)仕事始め
 - 8日(火)三学期始業式
 - 9日(水)実力考査(英・数)
 - 11日(水)実力考査(国)
 - 17日(水)全校読書会第2回打ち合わせ
 - 18日(金)挨拶運動
 - 19日(土)1月進研模試
 - 20日(日)センター試験
 - 23日(水)通学路清掃
 - 26日(土)修学旅行(2年)
- (2年後です。名称は変わりますが、できる限りタイムリーに解いてください。)

とある朝の職員室からの風景



11月進研模試分析 (各教科 および 日々の生活における課題)

42回生について	国語	数学	英語
課題	<ul style="list-style-type: none"> 重要古語の語彙力、基礎的な文法の力が低い。(古文) 返読・再読文字などの重要語、重要句形など漢文読解に必要な基礎力が低い。(漢文) 熟語・慣用表現を含む語彙力が低い。(現代文) 30字から50字程度の短い文の記述問題に全く取り組めていない答案が少なからずある。(現代文、古文、漢文) 筆者の主張や登場人物の心情などを簡潔にまとめる記述力が低い。(現代文) 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎計算力のアップ 大問1 & 各大問(1)で約36点あるにもかかわらず、全体平均が30点強である。 日々のトレーニング時間の確保をする。 現在授業で行っている分野は、ある程度評価できる。直前にやっていた分野の定着率が悪過ぎる。 自ら取り組む姿勢を持つ。 点数の悪さに対する、プライドの減退が激しい。 	<ul style="list-style-type: none"> リスニングが弱い。共通テストではリスニングがタフになるので、授業の中で積極的に取り入れていく必要がある。 記号問題に、なぜ解答しない? 英作文は書こうとする姿勢が以前に比べて増しているが、伝わらない(誤解を招くような)文章が多い。語順や構文等を、1年次中に見直す必要が大いにある。 長文問題には慣れてきている様子が見える。
目標設定(全体)	<ul style="list-style-type: none"> 偏差値50以上はもちろんのこと、60以上の上位層を増やす。 偏差値40以下の層を少なくする。 古文、漢文の短い文章をできるだけ多く読ませ、その読解を通して漢文の重要句形、古文の重要語、古典文法の基礎力を確実に習得させる。 現代評論文では、話題、問題提起、結論などを整理し、30字から50字程度の短い文章にまとめるという記述力の養成。 	<ul style="list-style-type: none"> 得点率50点以上 11月11人 まずは学年1割を目指す。 全国偏差値50以上 11月89人 学年3クラス分を偏差値50以上にする。 日々の学習の徹底。(他教科とのバランスを考えた分量で)授業の内容に即したことを、短時間でを行う。 2次関数の定着率を上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 偏差値50以上の層を増やす。 短文でもよいので、正しい語法・文法で英文を書くことができる。 音声聞くことに慣れ、リスニング問題を得点源にする。 語彙力をさらに増やす。(3500語以上)
目標設定(個人)	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、「漢文学習必携」の短文(わずか一文)を読み、句形に慣れる。 週末課題の問題集に、計画的に丁寧に取り組む。問題文を2回以上読み、大意を把握した後、記述問題にもきちんと解答する。(現代文、古文、漢文) 時間をかけて、予習し、語意味は文脈から把握し、自分の言葉で、自分が納得できる現代語に訳す。(古文、漢文) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の志望を叶えるための分析をする。 掲げるだけでなく、具体的な方策を掲げ、継続する。 達成感を得る数値を掲げ、その数値を高める努力をする。 できる分野を増やし、その分野の基礎項目を、ときどき練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の文型・構造に慣れる。これは書いて覚えて慣れるしかない。苦を惜しむな。 週末課題を答えを見ずにやる。結局、丸写ししている者は伸びていない。 考査前に本文の読み込みやワーク・問題集のやりこみをしているか。ただ、考査課題を消化してテストに臨んでいる者がいる。実力を伸ばすにはまず定期考査の徹底。
日々の取り組みこれだけは(キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> 本文は3回以上音読する。(古文、漢文) 語彙の量を増やす。(現代文、古文、漢文) (教科書・新聞、雑誌に限らず)文章を読めば、大意を声に出してまとめる。 (大意を文章でまとめるのは、さらによい。) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の志望に沿った努力をする。 自分で取り組みルールを作る。 日々の復習の積み重ねを心掛ける。 写す勉強でなく、自分の意志を含んだ解答を作る。 成果を手にする。 こだわりの分野を決めて、その間では絶対に間違えない。 	<ul style="list-style-type: none"> 単語帳には目を通すように心がけてほしい。 空いた時間を利用して、ラジオ英会話を聞いてみてほしい。 ピリン先生に話にくる生徒が少ない。英語力を伸ばすのに、ネイティブスピーカーと話すことほどよい勉強方法はない。もっと話をしに行こう。

42回生について	総合的観点	担任
課題	<ul style="list-style-type: none"> 進研模試デジタルサービスでは、個に応じた復習問題が提供されているが、活用できていない。 12月12日現在 復習完了宣言している者 9名/200人中 	<ul style="list-style-type: none"> 上位と下位の差が明確化してきた。努力し続けている者が着実に成績を伸ばし、怠っている者が下がってきているように見える。何もアクションを起こさなければ今のまま。いいかそのまま? 各科目で偏差値60を超えている生徒が数人のみ。定期考査の点数がとれている生徒の中でも、模試の点数に結びついていない生徒がいる。
目標設定(全体)	<ul style="list-style-type: none"> 進研模試のデジタルサービスを定期的に活用する習慣を身につける。その習慣がポートフォリオの入力へも繋がる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が授業をリードしよう。受け身になるな。 主要3教科のうちで、確実に点数にできるものをつくる。
目標設定(個人)	<ul style="list-style-type: none"> 1月の進研模試に向けて、志望校や目標点を登録する。 また、模試の前の基礎確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動や土日の合間などで学習時間を見つけ、実行する。 時間をかけるだけでなく、何を間違えたのかをはっきりさせて次の考査や模試に活かす。
日々の取り組みこれだけは(キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> 各教科、担任の先生からのアドバイスを素直に聞く。 日々の積み重ね以外ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習・復習の徹底。 小テストに落ちても何の違和感もない者がいる。何のために小テストをしているのか考えてください。日々の努力ができない者に実力がつかない。

学年の国数英3教科の先生のみならず、42回生の先生方が、普段のみんなの様子を見て真剣に、目標設定を与えてくださり、そのためのキーワードも挙げてくださっています。先生方の強い思い、意思を感じてほしい。

ただ、一生懸命に頑張るとい言葉だけでは効果は上がりません。具体的に項目を掲げて、次の全国大会(1月進研模試)への準備を一日も早く始めてください。その成果を感じるのが、3学期最初の実力考査です。

11月にあった国際理解講演会講師の小林由梨子さんの手元には、あの日みんなが掲げた目標一覧シートがあります。

あれだけ自分たちの胸を熱くしたはずの講演会。

感じたことを、自分の行動に返せていますか?

3月31日までの目標シートを、何らかの形で使ってくれていますか?

種まきをしても、水や肥料や厳しい環境を、適切に与えていかなければ、花も咲かねば、実もなりません。

読書の勧め

二週間ほどしかない冬休みですが、何か一冊、ゆつくりと本を読み込んでください。こんな機会なので、文理選択で考えた自分の将来に関する分野とか、たまたま惹きつけられて、手に取った本を読んで欲しいと思います。そこに、自分の運命を変えるような出会いがあることもあります。何冊か紹介します。分野が少し偏っているところはご容赦ください。いずれも、私に勇気をくれた本です。良かったら本屋さんに行ってみませんか。

クリスマスプレゼント「紹介だけですが」

世界一速く結果を出す人は、なぜ、メールを使わないのか

ピョートル・フェリックス・グジバチ

S Bクリエイティブ株式会社

二〇〇〇年来日。ベルリッツ↓モルガン・スタンレー↓グーグルにて、人材育成と組織開発に携わる。現在は独立して2社を経営。
 たまたま、神戸出張の際に、本屋で目にして買ってしまいました。なぜ、時間を惜しまないのか。なぜ、工夫することを考えるか。誤解がないようにしてもらいたいのですが、自分たちの過ごしている世界が、あまりにも平々凡々、幸せすぎる世界だからこそ、当たり前に、日々を過ごせることの有難さを感じられないのだと思います。この類の本は、まず、自ら探しに行くことではないと思います。グーグルを、一つのキーワードに、そこで仕事に携わっていた人の仕事観を学んでみませんか。

井村雅代コーチの結果を出す力 あと「1ミリの努力」で限界を超える

井村雅代

PHP

結果が出てこそ初めて頑張った日が輝く。自分のがんばりは他人に評価してもらわなければならない。無理をすればもっと無理ができる。もっと前が見える。言わずと知れた、日本シンクロナイズドスイミング界のスーパーコーチです。でも、スパーなことをしている訳ではない。「やればできる」を言われる人ではなく、「やってみてきたよ」が言える人になるために、ぜひ読んでほしい一冊です。

白洲次郎 一流の条件 仕事と人生の格を上げる40の心得

監修 牧山圭男

宝島社

まず、「誰？」これで掴みはOKです。日本史・世界史選択希望のいずれもが、第二次世界大戦前後で、いつか出会う偉大な日本人のうちの一人です。他には、ドラマにもなった杉浦千畝などについても、出会ってほしい本ですね。

限界の正体 自分が見えない檻から抜け出す法

為末 大

S Bクリエイティブ株式会社

日本陸上競技界の本場の侍だと思えます。一七〇センチ弱の身長を、弱点ではなく、武器にできる方法を、心身共にフル活動させ、メダルを獲得した選手です。テレビなどでも、ときどき、コメントターとして登場しています。

『友情』

山中伸弥・平尾誠二・恵子

講談社

iPS細胞の発見・研究により、ノーベル生理学・医学賞を受賞された、山中伸弥教授と、二〇一六年に逝去された、日本のラグビー界を背負い続けた、平尾誠二さんの様々なエピソードから、今生きる我々に投げかけた、平尾誠二さんの課題を感じ、受け止めることができる本です。お二人の共通点は、教授が、人生の中でわずか三年ほど、経験したラグビーだけ。奇しくも、二〇一八年二月一日、平尾誠二さんが愛してやまなかった神戸製鋼ステイラーズは、「今」を生きる選手、スタッフ、支援者によって、過去に築かれた「レガシー(遺産)」を、再び皆で共有することによって、一八年という歳月を経て、再び日本の称号に辿り着きました。

私の学生時代は、平尾誠二さんの高校時代の「スクールウォーズ」に始まり、教師になってからは、ステイラーズの全盛、阪神淡路大震災により、学生時代を過ごした街を目にした時の人間の無力さ、困難に立ち向かう人間の心の尊さなどを、感じさせてもらいました。いま想像ば、厚かましい話ではありますが、山中先生が、平尾さんにお感じになられているように、私もまた、自分の中でもとにさせてもらっていたのかも知れません。ステイラーズのファンクラブの一員でもないのに、その結果に一喜一憂できる、自分の人生で、素晴らしい出会いをさせてもらったのでしょうか。

ドラゴン桜&ドラゴン桜2

三田 紀房

講談社

漫画と馬鹿にすることなかれ。今の君たちには、学びのヒント、日々の学習活動に生かせることがたくさん描かれています。冷めた目で見ることもなく、向かい合ってみてはどうでしょう。

42回生 新2学年文理選択 (人数について)

理系	理科	4組理系		自然科学	
		物理	生物	物理	生物
		30	11	30	10
	計	41		40	
文系	地歴	1組	2組	3組	← 日本史Bの選択希望者を、あともう少し、世界史B選択希望に移す必要があります。 文系希望生は、もう一度だけ再考してもらえますでしょうか？
		日本史B	51	19	
		世界史B	27	22	
	計	78	41		
	公民	現代社会	78	34	
		政経(2年)	0	7	
倫理(3年)		0	7		
計	78	41			

大切なお知らせ

1頁に記したように、新2年生での文理選択を左記のように確定しました。理系、選抜クラス等、希望が大きく上回る中で、現段階で、生徒の希望への道を断つことがないように、文系からでも目指せる可能性があるかの情報収集も含め、会議、個人面談を重ねました。全生徒の目標が叶う方法、生徒個々が目指す最終目標に、どう本気で向かい合うか。これからの本当の勝負の始まりです。まだ、何も手にしていない。進み方が示されただけです。どうか、自分の目指すものを手に入れるために、当たり前の「日々の」学習活動を、継続できるようにして下さい。近道はない。特別もない。あるのは、
**繰り返し・こだわり・基礎の徹底・
 負けん気・見返し**
 です。自分に克て!! 自分に負けるな!!

総合的な学習で培った経験を

「西播磨地域夢会議」で表現してみませんか。

開催日時 平成31年2月10日(日)
13:00~16:30

開催場所 関西福祉大学(赤穂市新田)

募集人数 先着5名

テーマ 「好きですか?あなたのまち」

募集締切 平成31年1月10日(木) 荒内まで

昨年までは、生徒会が参加していたようですが、せっかくの機会です。普段活動している、総合的な学習の時間でのグループを飛び越えて、チーム42で参加しましょう。

どんどん興味を持って、申し出をして下さい。待っています。

母校訪問(3回目)

冬休みを利用して、母校(中学校)訪問に行ってもらいます。一番は、相高の報告ですが、その中でも、自分の報告をしつかりしてほしいと思います。真剣に伝えれば、必ず自分に強い勇気をもたらえると思います。それが、中学三年生に伝わり、相高の更なる活力になります。

みんなにとって、大切な母校への訪問です。その母校としっかり繋がり、今所属している高校に、新たなエネルギーをもたらさし、誇りを持って、新年からの生活に備えましょう。

高大接続入試改革情報

目玉は英語

・4技能(読む・聞く・話す・書く)を鍛えるために
&民間英語資格検定試験の成績提供に備えて

受検は、大変高価なものです。英検等、積極的に受検をしてほしいと思います。ただし、いつでも良いのではなく、主催側の基準日に受検しないと認められないなど、まだまだこれから示されることがたくさん出てきます。何級が何点になるわけではなく、共通テストで得た点数と、民間検定で取った点数を比較して、良い方をスコアにしてもらえる、というイメージです。

思考力を鍛えるには

・活字に触れる つまり 読む習慣をつける

連絡事項を確認しなかったり、教科書の例題なども見ようとしなかったり、もちろん、配布されたプリントもそのまま読まずにしまい込んで、確認をしていない生徒が結構います。そのため、何度も言いますが、「何が」を大切にすることができない。

これを何とかしたい。それには、とにかく活字に触れるしかない。ゲームも、シューティング系だけでなく、ロールプレイング系のゲームもして、同じ遊ぶにしても、瞬発力だけでなく、繰り返し行う中から、自然と身につけていくことも思い出してほしいと思います。

発展的な破壊を

失敗してこそ得られる経験をする事です。そのためには、できる世界だけでこじんまりするのではなく、できないものを探ることこそ、思考力を育て、自己表現を高めるには、本当は一番大切なことだと思います。

今年の一文字

残してみして下さい

来年の一文字

先日、システム手帳のアンケート結果が返ってきました。いろんな設問の回答の中に、「今までと変わらない」の回答が50%を超えるものが多数ありました。それは、今回のアンケートに限らず、42回生の集計にはよく見受けられます。つまり、まだ42回生は、自分を変える勇気が持っていないのが実情です。

だからこそ、来年の一字に辿り着きました。信じるしかないですね。

皆の心にも、夢は”叶える”ためにある。

どうぞ 良いお年を

私は 変

私は 揺